

## エネルギー消費性能計算プログラム（Ver.3.4.0β）における更新の内容

現行バージョン（Ver.3.3.1）からの変更点は、次の通りです。

### ● β1→β2（令和5年1月31日） ●

#### <太陽熱>

1. 液体集熱式太陽熱利用設備において、計算方法を一新しました。

以上

●Ver.3.3.1→Ver3.4.0β（令和5年1月17日）●

<基本情報>

- プログラムの種類に「特定建築主基準版」を選択した場合、居室の構成が表示される不備を修正しました。

<暖房／冷房>

- 外皮性能の評価方法「当該住戸の外皮面積を用いず外皮性能を評価する（別途計算）」において、住戸の種類に「床断熱住戸」かつ浴室の断熱構造に「基礎断熱」を選択した場合について、暖房設備／冷房設備の基準一次エネルギー消費量の算定における不備を修正しました。

<給湯>

- 冷媒にR32を採用する電気ヒートポンプ給湯機が評価対象として新たに追加されました。それに伴い、熱源機の種類「電気ヒートポンプ給湯機（CO2冷媒）（太陽熱利用設備を使用しないもの）」を「電気ヒートポンプ給湯機（CO2冷媒またはR32冷媒）（太陽熱利用設備を使用しないもの）」に変更しました。

以上

## 住宅・住戸の外皮性能計算プログラム (Ver.3.4.0) における更新の内容

現行バージョン (Ver.3.3.1) からの変更点は、次の通りです。

### ●Ver.3.3.1→Ver3.4.0β (令和5年1月31日) ●

#### <住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

1. 塗膜の日射吸収率を考慮した日射熱取得の計算方法が新たに追加されたことへ対応するため、以下の日射熱取得率の計算において、住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シートで入力された外気側表面の日射吸収率の値を用いるように変更しました。また、計算結果画面に入力した日射吸収率の値の表示を追加しました。
  - 一般部位の暖房期及び冷房期の日射熱取得率
  - 大部分が不透明材料で構成されている開口部 (ドア等) の垂直面日射熱取得率
  - 熱橋の暖房期及び冷房期の日射熱取得率
2. 住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シートから出力した XML 形式のファイルを読み込んで計算する方法から、住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート (Excel 形式のファイル) を直接読み込んで計算する方法へ変更しました。
3. 二重窓がある場合の日射熱取得率の計算について、住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シートの「ガラスの日射熱取得率」の入力において、「日射熱取得率 (内窓)」の値と「備考」を入力した場合に、「仕様の選択」も求められていた不備を修正しました。

#### <住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート>

4. 塗膜の日射吸収率を考慮した日射熱取得の計算方法が新たに追加されたことへ対応するため、①壁等-木造、②壁等-RC 造、③壁等-鉄骨造、④壁等-直接入力、⑥ドア、⑧熱橋シートに「外気側表面の日射吸収率」の項目を追加し、指定の有無と値の入力欄を追加しました。
5. Web アプリケーションの2の変更に伴い、XML 形式のファイル出力機能を廃止し、ファイル形式をマクロ対応形式からマクロ非対応

の形式に変更しました。あわせてホームシートの XML 出力ボタンを削除しました。

6. 各シートの入力条件に応じて黒塗りの書式設定を施していた部分及び説明リンクを廃止し、列のタイトル部分に入力条件等を明記しました。この変更に伴い、以下の項目を削除しました。
  - ①壁等・木造、②壁等・RC 造、③壁等・鉄骨造シートの「仕様を選択」から、それぞれ①計算、②計算、③計算シートへリンクする「入力する」の列
  - ⑤窓シートにおける日射熱取得率について、「数値を入力」または「仕様を選択」を選択する「入力方法」
  - ①計算、②計算、③計算シートにおける固体層の熱伝導率について「素材名を選択」または「数値を入力」を選択する「入力方法」

以上